令和６年度

彦根工業高等学校（全日制）　学校評価

本年度の重点目標

〇ものづくりの基礎・基本、特に安全教育や基本技能の習得を重視し、生徒の興味・関心・能力に応じた指導（キャリア教育）の推進を図る。
〇「あいさつ」「時間厳守」など規範意識の高揚に取り組み、モラルの向上と「思いやりの心」を持った人権意識の涵養を図り「人づくり」に努める。
〇教育諸活動を計画・実行・評価・改善のＰＤＣＡサイクルで実践し、適切な情報発信を行う。
〇シン・マイスター・ハイスクール事業の取り組みにより、高い技能・技術の取得を促進するとともに、地域産業を支えるリーダーとなる人材の育成を目指す。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	全教職員が教育目標を共有し、意欲と自覚を持って学校経営に参画する組織作りを目指し、教育活動を推進する。	A	A	A
	安全・安心な教育環境を実現するために、想定しうる全ての危機に対応した管理システムを構築し、検証と運用・改善に努める。	A	A	A
2　学習指導	シラバスに基づき、基礎・基本から授業を展開し、定着度の向上と教材開発や教授法の工夫改善に取り組む。	A	A	A
	工業に関する知識や技術・技能の習得を目指す技術教育を柱に、資格取得や技能学習を通じ、工業技術者・技能者としての資質を身に付けさせる。	A	A	A
3　生徒指導	基本的生活習慣を確立し、人権尊重の精神と社会人としてのモラルやマナーが身に付くよう、全教職員が計画的・組織的に指導する。	A	A	A
	社会ルールを遵守させるなど規範意識の高揚を図るとともに、家庭との連携を図りながらあらゆる危機に対応し得る管理体制と、安全かつ安心な教育環境の確立を目指す。	A	A	A
	いじめの未然防止に努めるとともに、いじめに関するアンケートを毎学期実施し、発見した場合にはいじめ対策委員会の主導のもと迅速に対応し、再発防止を行う体制作りに努める。	A	A	A
4　進路指導	卒業後の人生設計を見据えた計画的・系統的なキャリア学習を行い、早期に自立への道筋をつかませるよう指導する。	A	A	A
	自己実現が図れる環境や条件整備など、生徒支援体制の確立と地域企業等への働きかけなどに取り組む。	A	A	A
5　特別活動等	あらゆる集団活動を通じ、自己の生き方や他者との関わり方、協働や労働の意義等を十分理解するよう指導する。	A	A	A
	学級活動や生徒会活動、部活動を通じ、生徒が規範意識や自己肯定感を高め、活力ある学校づくりに資するよう指導する。	A	A	A
6　学校図書館	定期的な「図書だより」や読書指導を通じ、読書への啓発や読書習慣等が身に付くよう指導を図る。	A	A	B
	授業やＬＨＲなどで図書館資料を有効活用し、教育情報の要としての図書館活用を進める。	B	B	B
7　保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防などを適切に行うため、組織的・継続的に保健指導を推進する。	A	A	A
	生徒の事故・怪我・病気等に適切に対応できる管理体制と日常の相談体制の充実に努める。	A	A	A
8　人権教育	部落差別をはじめとするあらゆる差別に対して人権を尊重する立場に立ち、その解決を目指す取組みを進める。	A	A	A
	個々の生徒の悩みに応えるため、定期的な教育相談日を設けるなど相談活動（カウンセリング）を推進する。	A	A	A
	生徒の抱える多様な課題に対応するため、担当教員を中心に全教職員の生徒支援体制の確立と研修の充実を図る。	A	A	A
9　環境教育	日常の清掃活動等を通じ、公共心を育成し、自ら生活環境を守る意識と態度を養成する。	B	B	A
	ゴミの減量化や分別、リサイクル等に学校ぐるみで取り組み、環境美化活動を推進する。	A	A	A
10　事務・管理	事務文書や学校の施設・設備の保守安全点検など適切な維持・管理に努める。	A	A	A
	個人情報の取扱いや校内外の防犯・防災対策など危機管理への対応を常に図っている。	A	A	A
11　その他 学校の取組み	新しい工業高校の創造を目指した実践的研究とその具体化を通して、積極的に学校改革を推進する。	A	A	A
	地域の関係機関や企業との連携を図りながら、積極的な情報発信に努めるなど開かれた学校づくりを目指す。	A	A	A

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ： http://www.genkou-h.shiga-ec.ed.jp/